

2022年10月4日(第1.1版)

整形外科に、通院又は入院中の/過去に通院又は入院された患者さんまたは
ご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

当院と斗南病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第一号、令和4年3月10日一部改正)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] 腰椎後方要素温存が腰椎後方除圧術後の成績に与える影響の解析

[研究代表機関名・研究代表者名・所属/病院長名]

北海道大学病院 整形外科 大西 貴士 / 渥美 達也

[共同研究機関名・研究責任者名/病院長名]

斗南病院 整形外科・脊椎疾患センター 楯野 知道 / 奥芝 俊一

[研究の目的]

腰部脊柱管狭窄症の手術方法の違いが、術後の腰痛や椎間板の状態に影響を及ぼすかを検証する。

[研究の方法]

対象となる患者さん

腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、腰椎変性すべり症等、腰椎後方除圧術を要した患者さんで、2012年1月1日から2021年12月31日までの間に斗南病院もしくは北大病院で後方除圧術を受けた方

利用する情報：2023年12月までの情報を利用いたします

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査)、アンケート内容、手術に関する情報など

○送付方法

この研究は、上記の病院で実施します。上記のカルテ情報は、術後腰痛や椎間板の状態への影響を調査するために、北海道大学に電子的配信で送付します。

[研究実施期間]

実施許可日～2025年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

__北海道大学__ 病院 __整形外__ 科

担当医師：__大西 貴士__

住所：__北海道札幌市北区北14条西5丁目__

電話：__(011) 706-5936__ FAX：__(011) 706-6054__